



甲状腺中毒症

内分泌・代謝内科

CTCAE Grade	投与の可否	対処方法
Grade1 ●無症状で、検査所見の異常のみがある;もしくは軽度の臨床所見がある	投与を継続	甲状腺機能亢進症が消失、もしくは甲状腺機能低下状態になるまで、2~3週毎にTSH, FT4のモニタリングを継続
Grade2 ●中等度の症状がある;日常生活には制限がない	症状の改善ないしは検査値の正常化まで休止を検討 症状が改善した場合(ホルモン補充療法の有無は問わない)、投与を再開	内分泌代謝内科にコンサルト 動悸、手指振戦などの症状があれば、β遮断薬を投与 2~3週毎に甲状腺機能検査を継続する 6~8週経過しても、甲状腺中毒症が改善しない場合、バセドウ病の鑑別を行う
Grade3 ●高度の症状がある;身の回りの日常生活動作の制限がある;入院を要する Grade4 ●生命を脅かす;緊急処置を要する	症状の改善ないしは検査値の正常化まで休止を検討 症状が改善した場合(ホルモン補充療法の有無は問わない)、投与を再開	内分泌代謝内科にコンサルト β遮断薬の投与を開始する 1~3週毎の臨床検査を継続 甲状腺クリーゼの場合、ICUにて集学的治療を行う